

2023
令和5年度

市政方針

2月24日、令和5年度第2回豊岡市議会定例会で、関貫市長が2023(令和5)年度の本市のまちづくりと市政運営にあたる所信を表明しました。

なお、市政方針を含む市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。



3月議会定例会開会日に来年度の市政方針を説明する関貫市長

Withコロナを念頭に 安心安全なまちを目指す

3年前に始まった新型コロナウイルス感染症。過去のSARSと同様に短期間で終わると思われていました。現実はそのうちではなかった。私たちにあって初めての経験ばかりが続きました。度重なる緊急事態宣言等による行動制限。市民生活、企業活動の多くが止まってしまったかのような状況でしたが、国、県の支援を受けながら耐えに耐え、医療従事者、福祉施設の職員、エッセンシャルワーカーの皆さんが最大限の力を発揮し、市民の皆さん、市職員も一丸となって対応していただき、今を迎えていると感じます。いまだ終息していませんが第8波も収まりを見せつつ、症状も多くのの方が軽微となり、市内でも3年ぶりに行われる行事等も徐々に増え、心弾む日々が感じられ、うれしく思います。国も感染

症拡大防止に関する内容を緩和する方針を出しました。今後はWithコロナを念頭に市民の皆さんにとって穏やかで安心安全なまちとなるよう市政を進めます。

市民目線に立った 行政サービスの提供を推進

新年度より市の組織を大きく変えます。DX推進の2年目は、より一層市民目線に立った分かりやすい、スピーディーな、満足度を上げていただける行政サービスの提供を行います。縦割りを排した庁内横断的な取組みを進め、業務効率化、改革の推進を通じて人員や財源など経営資源の捻出と適正配分を進めます。

子育て支援の充実を図る

また、私が力を注いでいる子育て支援のステップアップとして、子どもに関する組織を一部融合し、複数窓口に行くことなく一連の手続きがワンストップで行えるようにします。子ども医療費の無料化についても4歳から小学校3年生までを対象に加え、拡大します。子育て支援の内容を引き続き

充実していきます。

先日、市民の方から市政に対するご意見が届きました。一つ目は「同じ県でも明石と豊岡では子育て支援に雲泥の差があります。子どもは宝、未来そのものです。どうか子どもを産み育ててくれるような市にしてほしいです」というものです。二つ目は「先日、第二子を出産しました。市長が代わって子育て支援に期待していました。できることから実践し、子育てしやすい豊岡と言われるようなまちづくりを進めてほしいです」というものでした。子育て世代、子どもを産もうとしている方、もう一人と思う方、結婚を考えている方など多くの方に共通する言葉だと受け止めました。持続する豊岡を創っていくためには、少子化対策や子育て支援を常に意識しながら、市の施策立案に取り組みが必要で、現在の基本構想や地方創生総合戦略を進めつつも、できる限りの子育て支援の充実を図ります。

「主人公は市民」。この言葉を常に心の真ん中に置き今後とも市政、施策を進めます。

*市の各部署の「問合せ」「申込み先」は、4月1日以降の新しい課名を記載しています。

いま
まちの現在と未来のために～主人公は市民～

2023年度 予算案

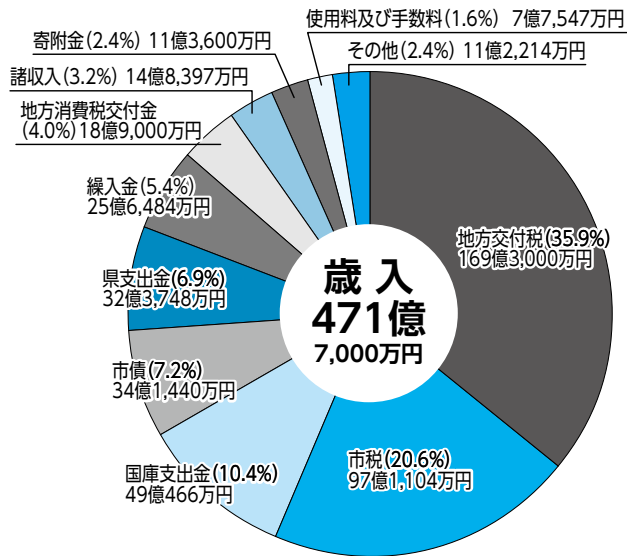


一般会計予算は471億7,000万円、2.9%の増

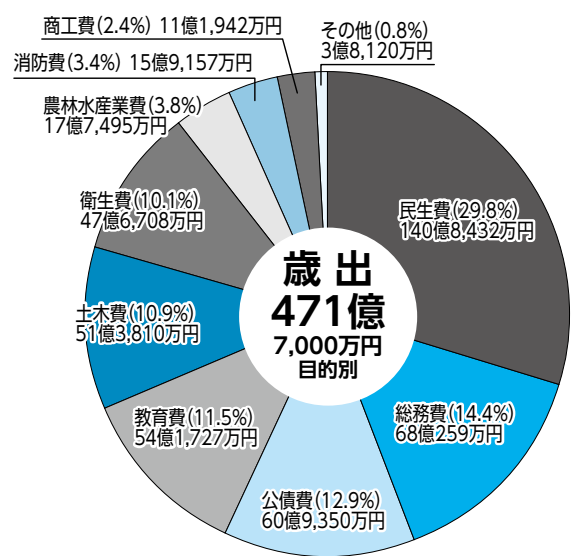
2023年度予算は、人々の日々の暮らしを支えることを市政の基本としながら「まちの現在と未来のために～主人公は市民～」を打ち出し、予算編成しました。教育や福祉、土木など市の基本的な行政運営経費を経理する一般会計は総額471億7千万円、前年度当初予算と比較して2.9%の増としました。

《問合せ》財政課 ☎ 21-9014

歳入の内訳



歳出の内訳



経済回復の見込みにより市税1億2千万円の増

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた経済の回復傾向が見込まれることから、市税は1億2,066万円(1.3%)の増としました。また、地方交付税は3億円(1.8%)の増としました。

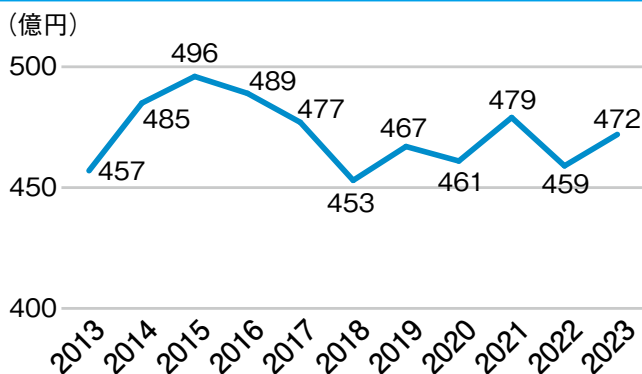
なお、市政推進のため必要不可欠な事業予算を計上しましたが、歳出に見合う財源が不足したため、財政調整基金から14億円を取り崩し、収支均衡を図っています。

新文化会館整備等に伴い教育費が13億円の増

民生費は、障害者(児)自立支援給付事業費等の増加により6億2,569万円(4.6%)の増、教育費は、新文化会館整備事業費等の増加により13億5,487万円(33.4%)の増としました。

一方、農林水産業費は、農業振興事業費等の減額により1億1,642万円(6.2%)の減、土木費は、内水処理事業費等の減額により3億4,521万円(6.3%)の減としました。

一般会計当初予算の推移(過去10年間)



過去10年間では、14年度から16年度まで北但ごみ処理施設整備等により予算額が増加しました。21年度も子育て支援総合拠点等整備事業等により予算額が増加。22年度は減少になりましたが、23年度は新文化会館整備等により増加しました。

※本紙に掲載している情報は編集時点(3月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。